

資料④の書式・レイアウト等に特に指定はありません。A4 サイズの **PDF ファイル（ファイル名は「2025_04.pdf」）**で提出して下さい。また、ファイルサイズが 10MB 以下となるよう、画像の数・解像度等を調整して下さい。

このファイルを表紙などとして使用する必要はありません。

PDF ファイルの内容は、省エネ設計手法・設備・快適性その他につき、採用する手法を以下の区分 1)～7) に分けて説明するものとして下さい。**1 区分につき 4 ページ以内、資料全体では 14 ページ以内**で作成して下さい。

- 1) 通風（自然風）利用のための設計手法・設備導入等
- 2) 日射熱・蓄熱利用のための設計手法・設備導入等
- 3) 日射遮蔽のための設計手法・設備導入等
- 4) 健康・快適性向上のための設計手法・設備導入等
- 5) 蓄電・太陽光連携エコキュート等、エネルギー地産地消設備の導入
- 6) エンボディドカーボン、アップフロントカーボン(※)削減のための取り組み
- 7) その他の取り組み

(※) エンボディドカーボン：建築物のライフサイクル全体を通じた二酸化炭素排出
アップフロントカーボン：製造・建設段階における二酸化炭素排出

1)～7) のすべてを網羅する必要はありません。採用している手法のみを記載して下さい。

作成した資料の概要（各区分の記載の有無、および記載ページ）を資料①（2025_01.xlsx）の「基本情報」シート 44-50 行目に入力して下さい。

また、ウェブサイト等に上記の内容についての記載がある場合には、PDF ファイルへの記載に代えて、当該サイトの URL を指定することができます。その場合は、同じく資料①（2025_01.xlsx）の「基本情報」シート 44-50 行目に URL を記載して下さい。

資料作成にあたっては、以下の点にご注意下さい。

- ・「エネルギー消費性能計算プログラム」で「通風を利用する」「蓄熱を利用する」「床下空間を經由して外気を導入する換気方式を利用する」を選択して計算している場合は、それらの内容に関する説明を記載して下さい。
- ・特定の物件のみで例外的に採用された手法ではなく、シリーズ全体あるいは企業として導入を図っている手法を記載して下さい。
- ・概念的な内容でなく、実際の導入案件の図面・写真等を挿入するなどして、できるだけ具体的な内容を記載して下さい。